

# 良質の素材とたゆまない愛情が絶品を生む 地酒づくり

木曾川中流域に映える白壁と黒塀のたたずまい。ひなびた蔵元には、一〇〇年にも及ぶ歴史が気品高き酒とともに貯蔵されている。

「酒は御神酒(おみき)ともいわれるように神様に供えるもので、口にするものの中では特別な意味を持つ」と、酒づくりに生涯を捧げてきた杜氏(とうじ)がいうように、神への供え物を作り出すには様々な決め手がある。米、水、温度の三つである。

酒の原料となる米は、各地から厳選された特別米を使用。米の発酵如何が酒の良否を決めるだけに、米一つにしても一流の名が要求される。水は「不老の井戸」と呼ばれる井戸水を利用している。この水は、御岳山の地下水脈を深さ20mよりくみ上げた、酒づくりに欠かせない貴重なミネラルウォーターである。



江戸にも運んだという酒が蔵元に眠っている。



ただでなく、町全体の気候を調節するといった空調の役目もしている。この恵まれた環境下で、酒以外にも醤油や味噌、こんにやくなどの食生活品の生産も盛んだ。

一流の米、良質の水、快適な気候。どれが欠けても絶品は作れない。しかし、あと一つあるそう。

「わが子を育てるように愛情を注がなくては、酒も育ってくれません。与えるものだけ与えて、ほら大きくなれではありません。酒も生き物ですから。」

そう笑った、この道30年のベテラン杜氏。木曾川の恩恵を授かる八百津の町で、次はどんな名酒を作ってくれるか楽しみである。

※杜氏 酒作りの職人  
取材協力/古田酒造合資会社  
(八百津町八百津)

## 水と昔話 長六落とし

恵那市

幕末のころ、毛呂窪(けろくぼ)村西平に長六という、村内のものを手当たりしだい盗んで歩き、始末におえないぬすびどがいた。

ある日、村人たちが集まって被害対策の相談会を開き、長六を殺すことになった。それには、まず長六を捕らえなければならぬ。このことを番太の小伝次に相談すると、

「へえ、そんならわしが捕まえてくる」といって引き受けた。

小伝次が長六のどこかへ行くとき、長六は昼飯を食べているところであった。小伝次はどかどかどか部屋に上がり、やに腕を取ってねじ上げた。「なにをする。手が痛い、折れちまうじゃないか」

と、長六が叫んでみたまもの、力の強い小伝次にかかつては身動きさえできなかつた。やがて、長六は両腕ともねじ上げられて、村人たちが集まっているところへ引立てられた。



村人たちは、ちよと酒を飲んでいるところで、

「長六、まあ飲めよ」と、一人が酒をすすめた。

長六は不審に思ったが、元来酒には目がないので、茶わんについだ酒をこくりと飲み干した。すると、また一人が酒をすすめる。このようにして、みんなが代わって酒をつぐ。

「もうあかん、もう飲めん」と、長六が手でさえぎっても「そんなことを言わずに、もつと飲めよ」と、無理にすすめる。そのうち長六は酔いつぶれて、そこに寝込んでしまった。

「ようし、みんなですつていこまいか」

こうして、長六は村人に持ち上げられ、滝坂の断崖絶壁から、木曾川の激流に投げ込まれてしまった。

現在、岐阜県恵那市笠置町に「長六落とし」というところがあるが、ここが長六をほうり込んだところだと言われている。

参考資料/恵那市史 恵那の昔はなしとうた  
恵那市発行

建設省中部地方建設局  
新丸山ダム工事事務所  
〒505-03  
岐阜県加茂郡八百津町八百津3847



もしもしテレフォン  
新丸山ダムについてどんな事でも  
お気軽にお問い合わせ下さい。  
0574-43-2780(代)

# みずしるべ



新丸山ダムのキャラクター  
しんまるくん

発行  
建設省中部地方建設局  
新丸山ダム工事事務所  
3

### INFORMATION

建設省新丸山ダム工事事務所は地域の皆様や関連する方々との情報ネットワークとして情報誌「みずしるべ」を発行しております。

「地域とダムと水」をテーマに内容をますます充実させて行きたいと思っております。ご意見・ご感想がございましたらぜひお寄せ下さい。



久田見祭(4月18・19日)  
(八百津町)

### 新丸山ダム概要

新丸山ダム建設事業は、木曾川本川が濃尾平野に流れ出る手前の峡谷に設置されている丸山ダムを大規模に嵩上げして、洪水調節能力を大きく向上させようというものです。

我が国あるいは世界で大きな役割をになっている中部圏を支え、更に発展させてゆくための基盤施設として、木曾川の新たなカナメとして生まれかわる新丸山ダムは、極めて大きな役割を果たすこととなります。



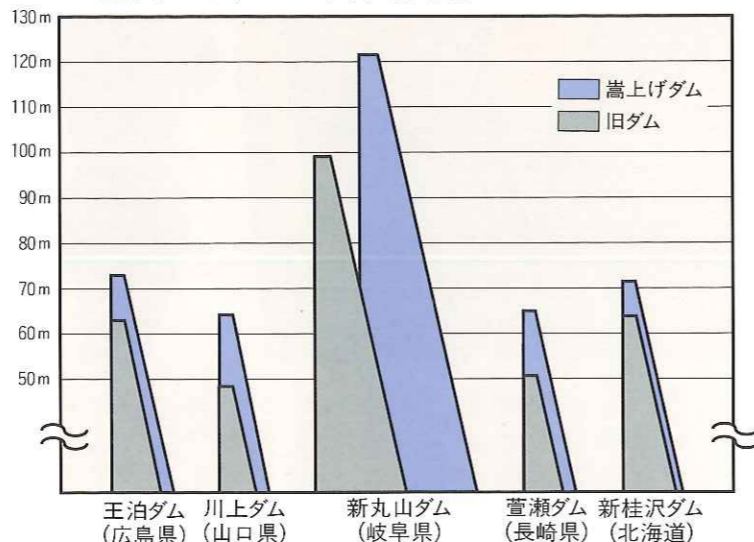
# SHIN MARUYAMA DAM BIG PROJECT

大きな役割をになって、丸山ダムが生まれ変わろうとしている。

嵩上げダムとしては  
日本最大

ダムの嵩上げとしては、日本最大規模。そして、現丸山ダムの洪水調節機能と発電機能を共に保ちながら嵩上げを行うという日本で初めての画期的な工事を行います。現在、工事の方法や設計などの技術的な検討を綿密に行っているところですが、日本のダム建設工事の中で先駆的な技術を駆使するダムとして注目されています。本格的なダム工事が始まれば世紀の大工事の現場を訪れる人で賑わう新名所になることでしょう。

■嵩上げダムの大きさ比較



## 新丸山ダムトピックス

### 産業文化祭に新丸山ダムも出展

盛況!  
新丸山ダム展

「蘇水峡川祭り」「八百津町産業文化祭」など地域のお祭りや行事といったあらゆる機会をとおし、新丸山ダムのこと、木曾川のこと等、水に関する内容全般にわたって幅広い情報サービスを行っています。今後も、もっと趣向を凝らした企画で参加しようと思っております。また、映画フィルム・ビデオの貸出しも行っていきます。お気軽にご相談ください。



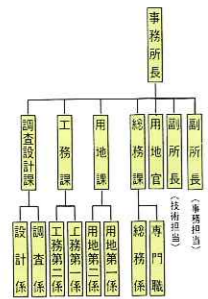
### 「新油皆洞橋」の完成。小中学生が橋銘板の文字に協力。

工事用道路として使用する国道418号の新油皆洞橋が完成します。そこで八百津町の未来を担う、小・中学生のみなさんにこの事業に参加してもらいたい。そんな思いで「新油皆洞橋」の橋銘板の文字を募集しました。八百津小学校・同中学校の生徒のみなさんから、総数24点の応募があり次の方々の字を採用させていただきました。どうもありがとうございました。



### 事務所の動き (平成3年7月以降)

- 7/1日 新庁舎の建設予定地さまる。(八百津町ファミリーセンター北側)
- 7/20日 新丸山ダム補償基準交渉委員会設立
- 7/29日 補償基準を提示
- 8/以降 各地区ごとに補償基準説明会を開催
- 8/以降 地元イベントに協賛。新丸山ダムコーナー出展する。8/4 蘇水峡川まつり。8/5 瑞浪市七夕まつり。11/16 八百津町産業文化祭など
- 10/1 新組織として、副所長(事務)を新設
- 11/29 第2回新丸山ダム補償基準交渉委員会連合会
- 12/24 第3回新丸山ダム補償基準交渉委員会連合会
- 1/28 第4回新丸山ダム補償基準交渉委員会連合会
- 2/14 第5回新丸山ダム補償基準交渉委員会連合会



事務所の動き (平成3年7月以降)  
ダムの工事事務所としては、まだ少ないですが、ガンバっています。



## 濃尾平野を守るかなめ

濃尾平野を扇に例えるならそのかなめの位置が新丸山ダム。そんな感じがしませんか。そして、それだけではありません。「かなめ」である最も大切なところが意味するとおり、濃尾平野に暮らす方々の生命・財産を洪水の危険から守る最も大切なダムとして活躍します。

現在の丸山ダムは木曾川の洪水調節を行うダムとして最も下流に位置し、平野部にも近いことから、効率的な洪水調節が行える最適地です。新丸山ダムの完成後には、ダムの洪水調節容量も3倍となり、ますますパワーアップします。

## 1,800億円の大事業

ダムづくりには莫大な費用がかかります。この中にはダム建設費はもちろん、移転者の生活再建、水没地の買収にかかる費用、各種の道路整備、現在の発電所の水路などの補強工事や貯水池の最上流端にある笠置ダムの改造・発電所の補償工事が含まれます。



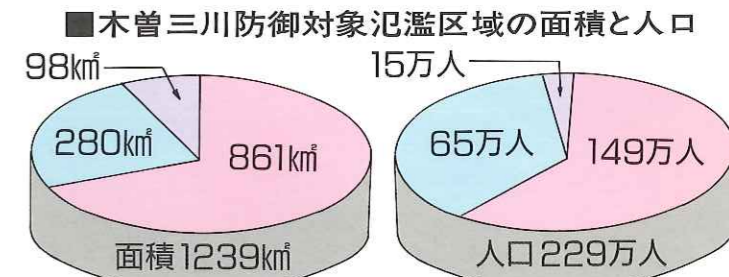
これだけの事業を計画的に実施していくためには、地域の皆様のご理解とご協力がなければできません。

### ダムの模型、うまくできましたね。

八百津中学校の文化祭で、1年A組のみなさんが、新丸山ダムをテーマに取り組んでくれました。



このテーマどうやって決めたの?の質問に「自分達の町の一番興味あることだから是非やってみよう!とクラスみんなで決めました。」  
新丸山ダム工事事務所にも何回か勉強に来ましたね。ダムの模型は正確でもとても素晴らしいし、資料づくりもわかりやすく良かった。みんなでアイデアを出し合い、クラスが「丸」となったがんばりが良くわかりました。



## 大々的な道路整備

ダムづくりに伴って現在の道路を付け替えたり新しく工事用の道を作らなければなりません。木曾川沿いの国道418号の潮南〜飯地ルートへの付け替えや、資材を運搬するための工事用道路などを主体に、県道や町道などの道路網が暮らしやすさや地域の発展を考えてあわせて整備されることになります。

これらをあわせると、新たにできる道路の長さは50kmを超えるという大規模なものとなります。これだけの道づくりを限られた期間に集中的に行うことはこの地域の生活や産業に大変大きなインパクトを与えることになります。

●八百津 約50km 名古屋●